

## 茅野市総合教育会議 会議録

1. 日時 平成30年2月22日(木) 開会 午後 4時00分  
閉会 午後 5時30分
2. 会場 茅野市役所 602会議室
3. 出席者 市長 柳平千代一 教育委員長 山田 利幸  
職務代理者 矢崎 靖雄 教育委員 濱 勝之  
教育委員 小林 俊恵 教育委員 小平 光子  
出席職員 生涯学習部長 平出 信次 こども部長 牛山津人志  
企画部長 柿澤 圭一  
学校教育課長 有賀 淳一 こども課長 五味 健志  
幼児教育課長 五味留美子 生涯学習課長 藤森 隆  
公民館長 矢島喜久雄 文化財課長 守矢 昌文  
スポーツ健康課長 鋤柄 敏 企画財政課長 小平 雅文  
教育総務係長 渡辺 雄一  
教育総務係主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 3名

# 茅野市総合教育会議次第

平成30年2月22日（木）午後4時00分  
茅野市役所 6階 602会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 平成29年度の主な取り組みについて

(2) 教育大綱について

(3) こども家庭総合支援拠点について

(4) 行政アドバイザーについて

4 意見交換

5 閉 会

学校教育課長

ただ今から第2回茅野市総合教育会議を開会致します。

会議に移る前に、この会議の公開・非公開について皆様にお諮りします。茅野市総合教育会議運営要綱第6条に基づき会議を公開したいと考えます。なお茅野市情報公開条例第6条第2号に該当する個人を特定する事項がある場合は非公開としてよろしいでしょうか。

全委員

はい。

学校教育課長

それでは公開とします。では市長の挨拶、柳平市長よろしくお願い致します。

市長

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。先日のオリンピックで茅野市出身の小平奈緒選手の活躍に感動し勇気づけられました。茅野市が目指している『たくましさ』と『優しさ』を同時に持っている小平選手が、市の子どもたちだけでなく大人にとっても人として生きていくために必要な姿を示してくれたと思います。

ではさっそく始めたいと思います。

学校教育課長

この後の議事進行につきましては、柳平市長に進めていただきます。よろしくお願い致します。

市長

議事を進めます。(1)「平成29年度の主な取り組みについて」、お願いします。

こども課長

資料1をご覧ください。第3次茅野市こども・家庭応援計画(第3次どんぐりプラン)の策定についてです。先ほどの定例教育委員会でご説明致しましたが、基本理念・策定目標・施策の骨子がまとまりました。ここで実施に向けて8月策定に向けて取り組んで参ります。ファミリー・サポート・センター事業につきましては記載のとおりです。要保護児童対策地域協議会と発達支援センター事業の成果につきましては記載のとおりですが、平成30年4月から発達支援センターと要保護児童対策地域協議会を同フロアに配置して、引き続き関係機関との連携を図り、切れ目のないきめ細やかな家庭支援を行うため家庭総合支援拠点を設置し、相談支援体制の強化を行って参ります。こども課からは以上です。

幼児教育課長

幼児教育課より、まず1点目ですが、職層別の保育士研修を行いました。「環境を通して行う保育」を、実践研修を通し理解を深めました。保育士自身が自らの保育を見直し、職層ごとの課題解決に努める事ができたのが、成果として挙げられます。来年度の課題につきましては、引き続き質の高い保育を実施していくこと、改定保育所保育指針に基づく「茅野市の保育と教育」の見直しが挙がっております。次に、茅野市保育園管理計画に基づく整備の推進につきまして、北山・小泉保育園のリノベーション工事が平成30年度着工に向けて事前準備が完了、施工業者等も決定し具体的な準備が進められております。また、統廃合検討委員会につきましてはそれぞれの委員会が予定通り4回実施され、今年度までに課題の抽出を行うこととしていますが議論がそこまでに至らない状況です。課題ですが、次年度の中大塩・宮川第二保育園の大規模改修準備を進めていきます。統廃合検討委員会では課題に対し解決策の検討を予定していますが、会議の進捗状況により、地域の方のご意見等お聞きしながら進め方や内容の再検討も必要かと思えます。幼児教育課からは以上です。

市長

次に学校教育課をお願いします。

学校教育課長

学校教育課からは、5つの主な取り組みを行ってきました。小中一貫教育の推進は今年度から本格実施されたのですが、今後の課題としてはICTを使用した教育の実践、ICTだけでなく実際の交流による実践、小中学校・小小学校の交流の推進、もう1つの課題は先生方の多忙化解消ですが、子どもの学びの向上のための教職員の多忙化解消を図っていくのが来年度の課題となっております。また、英語教育の充実についてですが、本年度は秋先生の指導が実現しました。来年度はその形を継続しつつ新たな教育指導主事による指導体制を構築していく予定となっております。次のICT教育の推進につきましては、今年度はテレビ会議システムの導入が完了致しました。また、ICT教育推進計画の策定の詳細については次回の定例教育委員会でご報告したいと思います。来年度は大型提示装置・授業用の教員用タブレット等の整備、通信回線を速いものに替えていく整備、また、次年度以降公務支援システムやICT支援員の配置を計画に沿って実施していくのが課題です。コミュニティスクールの推進では、今年度全校で信州型コミュニティスクール茅野市版の導入が完了しました。今後は各地区の特色を生かし地域に根ざしたコミュニティスクールの実践をしていくこととなります。小中学校施設整備計画の策定につきましては、平成39年度までの小中学校の整備計画の策定をしました。今後は議会や教育委員会にお諮りして地区説明会を開催する予定ですが、永明小・中学校から宮川小学校までの10年間の計画に基づいた小中学校の整備を進めていきます。学校教育課からは以上です。

市長

続いて生涯学習課をお願いします。

#### 生涯学習課長

2ページをご覧ください。生涯学習課の主な取り組みですが、本来なら分野別計画の策定ということで記載するのですが6本あり、ここでは割愛させていただきました。まず、図書館の開館時間の延長試行についてですが、利用者サービスの充実のためアンケート調査を行い、要望が多かった開館時間の延長を夏場に試行しました。理事者査定において臨時職員の1名増が認められ庁内の合意形成が図られました。課題ですが、4月1日から開館時間延長に伴い更なる利用者サービスの充実に取り組んでいきます。そして茅野市・ロングモント市姉妹都市交流事業ですが、「茅野国際クラブ」のメンバーと連携して取り組む体制を構築することが出来ました。昨年正副会長が交代し、メンバーの若返りにより一層協働で連携して進めて参りたいと思います。課題ですが、募集要項・選考要領の見直しが挙がっています。生涯学習課からは以上です。

#### 市長

次、公民館をお願いします。

#### 公民館長

お宝マップ作りでは、成果の欄に記載してあります通り、様々な成果が報告されています。来年度は多くの方が公民館活動に関わっていただけるような取り組みをとということで、「住民が集い住民が動く、地区に元気が出る活動を」を合言葉に進めていきたいと思います。2点目は今年度初めて試みた出前講座です。中学校は長峰中学校卒業生の大久保ジュンイチさんを講師にお招きし、人権の講演をしていただきました。保育園は泉野保育園・宮川保育園でチェルトの森にお住いの松岡キョウコさんをお招きして保護者向けの講演会を開きました。成果を実感できましたので、今後も出前講座を広めていきたいと思います。公民館からは以上です。

#### 市長

文化財課をお願いします。

#### 文化財課長

文化財課です。尖石遺跡公園の整備事業の実施についてですが、今年度から地元の皆様のご協力をいただいて史跡の西側範囲確認調査を実施しております。約3,500㎡(畑3筆)ですが、その内500㎡の試掘調査を実施しました。その結果縄文中期の竪穴住居2ヶ所・土坑8ヶ所が確認されました。今後ですが、緩衝地帯・多目的広場のプランニングを進め、地元や整備委員会と協議しながら活用についても協議していきたいと思います。また、北側

の範囲につきましても試掘調査を進めていきたいと考えております。次に国史跡駒形遺跡の公有地化事業の実施についてですが、こちらも地元地権者の皆様のご協力で約 3,500 m<sup>2</sup>の公有地化が完了し史跡指定地全域の公有地化が終了致しました。今後は「縄文の里史跡整備・活用基本計画」に則って、地元とも協議・連携を深めながら史跡のあるべき姿について考えていきたいと思っております。続きまして、八ヶ岳総合博物館展示替え・科学教育の振興の実施です。モバイルプラネタリウムを市内小中学校で出前投影していましたが、新たに地区公民館・地区コミュニティに出前投影を行っています。また、平成 30 年度の開館 30 周年事業に向けて企画運営会議と各種事業のアピールを 4 月から開催していくための準備に入っています。今後としまして、モバイルプラネタリウム出前事業の充実や市民研究員と連携した事業展開を行っていくことと、開館 30 周年を意識しながらその PR を早めに実施したいと考えております。以上です。

市長

スポーツ健康課お願いします。

スポーツ健康課長

スポーツ健康課では、体育施設整備の実施を致しました。野球場防水等改修工事、バッティングセンターピッチングマシン交換工事、ゴルフ練習場人工芝の張り替えをし、好評を得ました。課題としては、平成 28 年に改修計画を策定しましたが、計画通りに進めていきたいと考えております。次に、スポーツ活動充実のため各種大会を実施しました。諏訪地方ジュニア陸上大会開催、八ヶ岳縄文の里マラソン、諏訪地方スケート大会等です。スケート大会は 2 月 11 日に開催され 22 連覇中です。マラソン大会に関しては募集期間を延ばしたり全小中学校にチラシ配布したところ、定数に達しましたので来年も行っていきたいと思っております。スケート競技者の減少などが課題ですが、今年の来場者数は約 35,000 人で、小平選手が金メダルを取ったことを機に今後も増加していくことを希待しております。以上です。

市長

平成 29 年度の主な取り組みについて各課がご説明致しました。ご質問・ご意見などありましたらご発言をお願い致します。

矢崎委員

よろしいでしょうか。学校教育課の小学校の英語教育充実の所ですが、秋先生が今年度で終了ということで、次に就任される先生の参考になるような動画などの資料があるのかお聞きしたい。

学校教育課長

全ての動画はありませんが、授業中や授業以外の場面での動画はあります。また市の広報も取材に行き、そういった動画や教材も保存されていますので活用していきたいと考えています。

教育長

付け加えますと、秋先生の作られた教材は大変大きな財産なので来年も活用していきたい、同時に文科省の言う移行期間が来年度より開始されます。その教科書と併せて秋先生の教材を活用していきます。

矢崎委員

特に、新しく赴任された先生方に提示して参考にしてもらいたいと思います。

市長

教材も大事だが教え方も大事。上手に伝えられる動画、自然と子どもが引き込まれていく動画作りをお願いします。

矢崎委員

もう1点よろしいでしょうか。ICT教育推進計画の策定ですが、テレビ会議の導入とのことですが、外国の学校との交流が出来るシステムという事でしょうか。

学校教育課長

はい出来ます。市販のもので、グーグルのものとウインドウズのものとも使えるようになっております。特別なものでなく世界中で使用できるものです。

矢崎委員

台湾交流の前やロングモント市との交流の前に使用すれば効果が上がるのではないのでしょうか。

学校教育課長

実は今回の1月の交流の際に使用する予定だったのですが、台湾側が時間的に厳しくてなかなか実現しなかったのですが、念頭に置いております。

矢崎委員

ありがとうございました。

市長

3月1日から私が台湾に行きますので、プッシュしてきます。  
濱委員どうぞ。

濱委員

ICTの支援員の配置ですが、茅野市内13校全てに配置ということでしょうか。

学校教育課長

来年度はまだ配置はなく、再来年度から配置の計画となります。当初は支援員1名、最終的には学校区が4つですので学校区毎に1名の計4名配置する計画です。

濱委員

ありがとうございました。

市長

私からも1つ、ファミリー・サポート・センター事業の「12月末現在 利用者数143件」というのは想定した数字なのかどうか。

こども課長

想定した数字です。昨年が160件程度でしたので、12月末という事を考えますと想定した数字です。

矢崎委員

生涯学習課にお聞きしたいのですが、ロングモントの件で、募集要項・選考要領の見直しとありますが、違った募集の仕方をするということでしょうか。

生涯学習課長

違う形にするということではなく、平成29年にパートナーシップから移管してきたので茅野国際クラブさんと意見交換等したいということで載せました。来年度以降どういった形にするかという意見交換ですので、学校長の推薦という形は変わりません。

小林委員

幼児教育課のところですが、「保育士自身が自らの保育を見直し、職層ごとの課題解決に努めた」とありますが具体的にどのようなものでしょうか。

幼児教育課長

若い保育士は中堅保育士との面接をしながら困ったことなどを中堅保育士に指導しても



らうなどして、保育士の仕事を学んでいくシステムが出来ていますので、保育士の仕事や社会人としてのマナー等を身に着けていっていると思います。また新任であってもクラスを担当するという責任がありますので、どのように保育を進めていけば良いかと悩むところもあり、今年の新任保育士の研修については、研修や実際の保育の中で主任の保育から学ぶという実践を通した学びで、かなり手厚い研修体制の中で新任保育士の育成が出来ていると思います。

#### 小平委員

文化財課の八ヶ岳総合博物館の平成28年度に導入したモバイルプラネタリウムについてです。実際に見に行った時、大変上手な説明でしたので終了後にお話をお聞きしたら、「子どもたちがどのような説明をすれば楽しんでくれるか、考えている。」とのことで、大変素晴らしいと思いました。利用状況ですが、土曜日日曜日に使用しているということですが、導入した時と比べてどうなのでしょう。

#### 考古館長

今数字が手元に無く申し訳ありません。次回の会議で正しい数字を申し上げたいと思います。内容ですが、例えば7月でしたら七夕に関する事、先日の皆既月食に関する事など月々に合ったメニューで行っております。同じ内容を見ることはないのでリピーターの方も増えました。新たに地区コミュニティセンターにも出前投影できるようになったので、解説の事もあり、市民研究員の中でプラネタリウムの研究組織が立ち上がり徐々に勉強を始めました。幅広い活用が期待できると思います。ですので、緩やかに右肩上がり数字は増えています。

#### 矢崎委員

文化財課にもう1つ、駒形遺跡の課題の所ですが、史跡のあるべき姿の後に『(縄文黒曜石の里)』と、黒曜石を付けて記載してあるのは理由があるのでしょうか。

#### 考古館長

国の史跡の駒形遺跡ですが、黒曜石矢じりが全国に発信された場所という史跡の特性を活かす点からこのように記載しました。

#### 矢崎委員

もう1つ、自然の森は冬期閉鎖していますが、私はボーイスカウト活動をしている関係でここは非常に活動に適していると思っています。開放していただければ、と思っているのですが。

考古館長

凍結などの管理の問題と利用者数の問題でどうしても経費がかかってしまいますので、棟の利用は難しいのが現在の状況なのですが、敷地内へは自由に入っていただいて構わないようになっています。管理棟を利用せずに活動している団体もありますので、そのようにしていただければと思います。

市長

では次の「教育大綱について」に入ります。

## 【 概 要 】

学校教育課長

資料2をご覧ください。＜資料2 図を説明＞ 現在第5次茅野市総合計画の策定をしております。教育大綱は来年度までとなっておりますが、この体系図を見直す必要がありますのでご説明致します。

先ほどの定例教育委員会でもご説明致しましたが、これまでは『茅野市教育大綱』の枠だけでしたが、今後『第5次茅野市総合計画』が出来上がった暁にはこのような体系図になるということで修正案を出させていただきました。以上です。

市長

茅野市総合計画策定につきまして、教育大綱の見直しも併せて行いたいという事です。教育大綱の所を見ますと、整備がしっかり出来たという事だと思います。特に生涯学習の下の部分の計画が不安定でしたので、スポーツ・芸術をきちんと位置づけするという事です。ご質問等ありましたらどうぞ。

教育大綱の中の部分ですが、教育大綱に書かれている内容が具体的に整理できたと思います。

では次の「こども家庭総合支援拠点について」お願いします。

こども課長

資料3-2をご覧ください。茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）に基づいて教育と保健福祉など関連する分野が連携した相談支援体制の充実に努めて参りました。生まれる前から18歳までの子どもと家庭に関する総合相談窓口を設置し、関係機関が連携し迅速な対応を行うため児相機能も担ってきました。幼児教育課と学校教育課が同一フロアにあるため虐待等の相談があった場合速やかに関係者を招集し支援を開始する体制は整ってきています。しかし今以上に迅速な対応と子どもとその家庭への支援、子どもが所属する学校への支援など、子どもと家庭に関する支援を総合的に実施する体制と、専門性を活かした総合的かつ継続した支援体制の強化が必要となっております。平成30年度より家庭児童

相談室と要保護児童対策地域協議会を包含したこども家庭総合支援拠点、こちらは児童福祉法の改正により設置は努力義務とされたものですがこども課に設置し、保育士・保健師・臨床心理士を配置した発達支援センターを庁舎6階教育委員会フロアに設置して新たに教育支援主事を配置、またスクールソーシャルワーカーをこども課へ配置替えしケースワーカーを新たに配置することによって、専門的な相談に対応できる体制を構築、また、幼児期からの情報の一元化と個別支援計画を基に専門職とのチームによる支援、これは同一フロアにいて顔が見える位置にあるから出来る支援と言えます。また、発達支援と家庭支援を一体的かつ継続的に実施し、適切な養育環境を早期に整えて子どもの心身の安定と虐待等の予防が期待できると考えます。また設備として相談室や親子交流スペースの整備を進めていきます。なお、子ども家庭相談センター・子育て相談室など相談者が相談しやすく一目見て相談室だと分かる拠点の愛称を現在検討中です。こども課からは以上です。

#### 教育長

私から少々付け加えます。資料3-2をご覧ください。下に学校と書いてある辺りから補足していきたいと思います。資料にあるように、例えば不登校の子どもがいた場合その原因が友達関係、あるいは学業的な面にあるなら学校で解決していく、実際には子どもの発達の問題・家庭の養育力・経済的問題、そうしたものが複合的に絡み合っています。単純な不登校や生徒指導上の問題はほとんどありません。そういう時に、学校が解決できる問題とみんなが集まって問題を解決していく事とがあります。学校サイドからはこども家庭総合支援拠点に対してこのケースは学校だけでは無理と判断した場合、目標として3時間以内に支援体制を立ち上げるようになります。夏から試験的に運用してきていますが、かなり困難なケースに対して3時間以内に対応する体制が立ち上がり、当日中に必要な手が打たれているのは今までに無い速さでの解決です。解決するということは子どもが穏やかに幸せになっていくということになると思います。

もう1枚の資料3-1をご覧ください。図の入ったものです。こども家庭総合支援拠点の設立準備と同時に県の教育委員会と情報交換し話し合う中で、県のほうから茅野市のこのこども家庭総合支援拠点の取り組みに対して大変高い評価がありました。学校との結びつきの点でも評価しています。県が今行っている「信州発スクールリノベーション 働き方改革加速度授業」というものがあります。そのモデルケースとして茅野市で取り組んだらどうかという話がありました。事業目的として、「全ての学校で教員が指導力を一定以上高め、全ての授業で質の高い授業を実現する、そのために学校と教員が担うべき業務を明確化し、分業化協業化を進め、長時間勤務という働き方を改善する」。少々長い言い方ですが、今学校現場で一番長時間勤務になっている原因が提出書類の多さで、茅野市は市への書類は昨年度の半分に減らしました。一方で子ども家庭支援という点では多くの時間を費やしています。学校だけの対応では時間がかかってしまうが教育委員会の持っている財産と学校の教育力を結合させることによって質の高い学校・質の高い医療を目指していこうとい

うものです。図の3の授業内容の所ですが、図の左側 教育委員会と首長部局による学校支援体制のこの部分が「こども家庭総合支援拠点」になります。そして右側が学校になります。こうした関係で、茅野市で1つの実践をして行こうとなりました。質の高い授業・そこで大切に子どもを育てるために先生方が余裕を持ってくる・授業に専念するのが業務改善だと思っています。そうした中で、茅野市で業務改善と兼ねて質の高い学校作りのために授業を行っていますが、今回県の教育委員会からこの事業のために正規教員1名・校長を退職した再任用の教員1名計2名が特別加配になりました。よろしくをお願いします。

市長

こども家庭総合支援拠点を設置していく件についてでした。この拠点は発達支援センターの機能も有するということですね。家庭児童相談室の機能も有して。要対協はどのように関係するのか。

こども課長

要対協も一緒です。

市長

他にご質問あればどうぞ。

矢崎委員

部活動についてですが、部活動の指導をどのように外部指導者にお願いしていくのか、をお聞きしたい。

教育長

大町市が現在研究しています。地域総合スポーツクラブや外部講師の活用など色々な方向性が出てきますが、茅野市の場合は来年1年かけて研究して参ります。

茅野市の子供達の運動能力をどのように高めていくか、の視点を大切にしていきます。

市長

では次の「行政アドバイザーについて」、教育長からお願いします。

教育長

市長さんのご理解をいただき、専門家を配置することが出来ました。写真入り資料の、森田先生のプロフィールをご覧ください。＜プロフィール紹介＞平成25年に茅野市にいじめ問題の講演で見えられ、それ以来お付き合いいただき教えていただいています。現在鳴門工科大学特任教授を務められており、学会の活動は記載のとおりですが、特に日本生徒指導

学会会長という立場でいらっしゃいます。文科省中央教育審議会初等中等教育分科会委員でもあり、次期学習指導要領を作られた先生です。また、「いじめ防止基本方針策定協議会」と「不登校に関する調査研究協力者会議」の座長でもあります。森田先生をお呼びすることによってこれからの茅野市の教育・生徒指導のあり方をご指導いただけたと思います。

森田先生からアドバイスを受けたことと期待できることとして、「10年後をみすえた茅野市教育のあり方について」を挙げました。人口が減少していく10年後の茅野市では、永明小・宮川小・玉川小の大規模校は恐らく3学級編成になる予想です。4中学校対単級または複式学級の小規模小学校という配置状況が予想されます。人口が減った地域での学校の進め方をどのようにしていくかが課題の1つだと思います。具体的には市民との協働連携と茅野市型コミュニティスクールのあり方、これを10年かけて更に完成させていく。そして先ほどの信州型との違いですが、信州型は学校支援のコミュニティスクールです。茅野市型は学校支援プラス子育て支援・教育を核としたまちづくりと地域創生の2つの視点を加えていきたい。そして家庭教育のあり方とその支援をしていきたい。2つ目に小中一貫教育・幼保小連携教育・中高連携教育・理科大との連携など縦の連携・一貫教育のあり方、3つ目に図書館・公民館活動・博物館関係・体育運動関係の今後のあり方と学校教育とのネットワーク、4つ目にどんぐりプランの運用について、5つ目に産業と教育・文化の相互関係について、これらを柱にアドバイスしていただこうと考えております。

目下の教育課題についての教委としての施策や取り組みについてですが、5つあります。1つ目はコミュニティスクールの推進・子育て支援とのつなげ方・出前講座などの公民館活動と縄文科学習との連携、2つ目は心の教育の方向性・あり方、仮称ですが「こころの教育四葉のクローバープラン」の立ち上げに向けて、『不登校・いじめ・道德教育・生活づくり』の4つを総合的に位置づける。「対策」「対応」的なものでなく「予防」的な根をはった子どもの育ちを具現する。3つ目はこども家庭総合支援拠点の運営について、4つ目は学力向上と小中一貫教育、学級集団作り、5つ目が縄文科学習の今後についてです。専門家である森田先生のご指導をいただいて一歩でも進んでいきたいと思っています。以上です。

市長

公民館との連携にもなってくると思うが、コミュニティセンター・運協との関わりはどのようなイメージなのか。

こども部長

地域の子育てに関しては「子育て部会」を中心として活動していた経過がありますので、子育て部会の下にコミュニティセンターが入ってくる形も考えられますが、地域作りの意味で中学校区の子育ても併せて考えていかなければなりません。現段階では子育て部会を中心とするかコミュニティスクールを中心とするか、それぞれのメリット・デメリットを整理しながら新しい方向の案を作りまして森田先生のご指導をいただく中で最終的には10年

間の計画としてどんぐりプランの中に盛り込んでいければ、と考えております。

市長

そこが大きいポイントだと思う。そこが上手く回るような仕組み・役割が出来れば本物になっていくと思う。

教育長

他の地域を見てみると、茅野市のように上手く回っている所はあまり無い。無いからただの学校支援になっているのだと思います。

市長

何かご質問などありませんか。大きく平成29年度の取り組みについてご説明致しました。これ以外のことでも構いません。ご意見お考え等あればご発言お願い致します。

教育長

東部中学校では市役所職員を20名ほど招いて意見交換会を定期的に行っています。土台にあるのが縄文で学んだ地域作りがあると思います。北部中・長峰中でも開いてくれました。永明小ではプログラミング学習を先行して始めています。独自性が出てきました。

矢崎委員

何度か見せていただきましたが、素晴らしいものなので、どこかで発表出来ればと思います。

市長

他にはありませんか。無いようですね。

学校教育課長

活発な意見交換、ありがとうございました。参考にさせていただきます。それでは第2回茅野市総合教育会議を閉会致します。